



▼町教育委員会、甲佐高校、熊本日日新聞社の3者で協定書に調印



甲佐町の教育に新聞を

熊本日日新聞社らとNIE協定を調印

4月15日(月) 町役場で、町教育委員会、甲佐高校(蔵田勇治校長)、熊本日日新聞社によるNIE(エヌ・アイ・イー)協定が調印されました。

NIEとは、Newspaper Education(教育に新聞を)の略で、学校などで新聞を教材として活用することで、思考力や判断力、表現力などが身に付くとされる取り組みのこと。町内小・中学校と甲佐高校の児童・生徒の言語活動の充実を図ることを目的に、同新聞社の記者を講師として派遣することや、記事データベースの活用、記事の2次使用の許諾などについて協定が結ばれました。

調印式では、同新聞社の中西雄一常務取締役が「甲佐町の教育のさらなる発展に貢献できれば幸いです。今後とも、学校の授業に利用されるのにふさわしい新聞を作っていきたいと思います」とあいさつ。赤星眞照町教育長、蔵田校長、中西常務取締役が協定書に調印しました。

社会福祉活動に県知事表彰

上田口区の緒方祐子さん

本町の民生委員・児童委員の緒方祐子さん(上田口区)が、平成24年度県社会福祉功労者として県知事表彰を受けました。

同表彰は、社会福祉の向上に寄与し、模範的に活動した個人や団体に対して実施。緒方さんは平成6年から同委員。現在は甲佐町民生委員児童委員協議会の会長を務めています。

3月27日(水) 町役場で表彰状と記念品が伝達されました。緒方さんは「今後も、皆さんのお役に立てるような活動を続けたい」と話しました。



▲社会福祉功労者として表彰を受けた緒方さん(写真左)



▲郡ソフトテニス協会の指導の下、テニス教室を開催

テニスで心身を鍛えよう

甲佐町スポーツ教室を開催

3月23日(土) 甲佐中学校で、甲佐町スポーツ教室が開催されました。

小・中学生の心身の鍛錬を図るとともに、児童・生徒の親ほくを深めることを目的に、町教育委員会が主催。

今回は、郡ソフトテニス協会から菊地信二郎会長など5人を講師に迎え、テニス教室を開催。町内の小・中学生31人が参加しました。

子どもたちは、講師によるダブルスの試合を観戦した後、ボールを打つ練習などを実践。講師を務めた同協会の大住麻水さんは、「みんなで切磋琢磨して練習してください」と参加者を激励しました。

元気に戻っておいで

甲佐小4年生が緑川で稚アユを放流

4月16日（火）中甲橋グリーンパークで、甲佐小学校（清村勢津子校長178人）の4年生32人が稚アユの放流を体験しました。

サントリー九州熊本工場（嘉島町）が、環境保全の一環として毎年実施。緑川漁業協同組合（坂本猛組合長）の指導の下、バケツに分けた約50^{kg} 16,000匹の稚アユを放流しました。

放流体験を終えた本田隆蔵くん（大町区）と高栢航琉くん（岩下二区）は、「アユは思ったより小さくてびっくりしたけど、楽しかった」と感想を述べました。



▲バケツに分けた稚アユを緑川に放流する甲佐小4年生



▲委嘱状を交付された地域おこし協力隊員3人

住民とともに町づくりを

甲佐町地域おこし協力隊員3人に委嘱状

4月1日（月）町役場で、甲佐町地域おこし協力隊へ平成25年度の委嘱状が交付されました。同隊は、地域活性化を目的として、都市住民など地域外の人材を地域の新たな担い手として受け入れる制度。本町では、昨年度から佐藤直樹さん（熊本市出身・広瀬区）、川上昇さん（宮崎県出身・小鹿区）、越智新さん（神奈川県出身・下豊内区）が、宮内地区の活性化や甲佐町農産物直売所「ろくじ館」の運営サポートなどを実施。今年度も、引き続き3人を隊員に委嘱。奥名克美町長は、「住民と息を融合し、より良い甲佐町を作ってもらいたい」と話しました。

新1年生入学おめでとう

平成25年度小・中学校入学式



▲平成25年度の新入生は、甲佐小27人、龍野小31人、乙女小14人、白旗小15人で、小学校全体で87人、甲佐中89人。写真は甲佐小の入学式

4月9日（火）町内の各小学校および甲佐中学校で、平成25年度入学式が開催されました。

平成25年度の新入生は、甲佐小27人、龍野小31人、乙女小14人、白旗小15人で、町内小学校全体で87人。甲佐中は89人が入学しました。

甲佐小学校（清村勢津子校長178人）では、同小体育館で入学式を開催。上級生や保護者などの拍手に迎えられて、新入児童が元気よく入場して開式。初めに氏名点呼が行われ、新入児童たちは、一人ひとり名前を呼ばれると大きな声で返事をして起立しました。

清村校長が「皆さんの入学を楽しみに待っていました。小学校では、あいさつや後片付けなどをきちんと身に付けて、楽しく勉強しましょう」と式辞。

在校生を代表して、6年生の田上凜さん（横田区）が「甲佐小では、広い体育館や運動場、生き物がたくさんいる川などで遊ぶことができます。一緒に楽しい思い出をつくっていきましょう」と歓迎の言葉を述べました。